

2 学力調査等を活用した学力向上推進事業概要

確かな学力の育成

各学校の実態に即して、基本的な生活習慣の確立や学習習慣の定着を目指した取組、授業改善の取組を行うことを通して、児童生徒の学習意欲の向上を目指す。

県教育委員会

連携

学力調査活用アクションプラン
推進協議会

成果の普及
啓発

助言
情報
提供

市町村教育委員会

推進校

御所市立掖上小学校
御所市立大正小学校
平群町立平群西小学校
御所市立御所中学校
曾爾村立曾爾中学校

保護者への働きかけ
校内体制の整備
個に応じた指導
重点的な取組
職員研修の充実、など

県内の各学校、県内の各市町村教育委員会

事業趣旨

全国学力・学習状況調査を活用した教育活動や教育施策の改善に向けた全国的な取組をさらに推進するためには、全国学力・学習状況調査の結果等から明らかになった課題について、教育委員会、学校等が連携しながら地域として改善に取り組むことが求められている。

そのため、本事業は、全国学力・学習状況調査の結果等を活用・分析して明らかになった課題のうち、地域内の学校が共通に有しており、地域的に解決が求められている課題や、地域的な事情等から個々の学校のみでは解決が困難な課題等の改善を図るため、アクションプランに基づき、教育委員会、学校等が連携しながら地域として学校の教育活動等の改善に取り組む実践研究を実施し、その成果を改善モデルとして普及を図る。

事業の内容

県教育委員会は、「アクションプラン推進協議会」を設置し、学校の教育活動等の改善に計画的に取り組むためのアクションプランに基づき、アクションプラン推進校及び市町村教育委員会と共同で地域として取り組む実践研究を実施する。

「アクションプラン推進協議会」は、県教育委員会、関係する市町村教育委員会、学校、学識経験者等により構成し、実践研究の推進の統括及び成果の普及を行う。

また、事業の開始後、できる限り速やかにアクションプランを策定する。さらに、事業の終了時において、アクションプランに基づき実施した平成21年度の成果（達成度）について分析・評価を行う。この際に用いる評価指標は、アクションプランにおいてあらかじめ設定する。

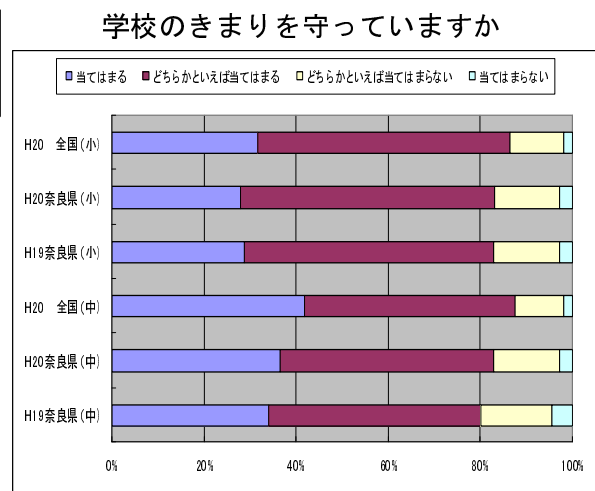
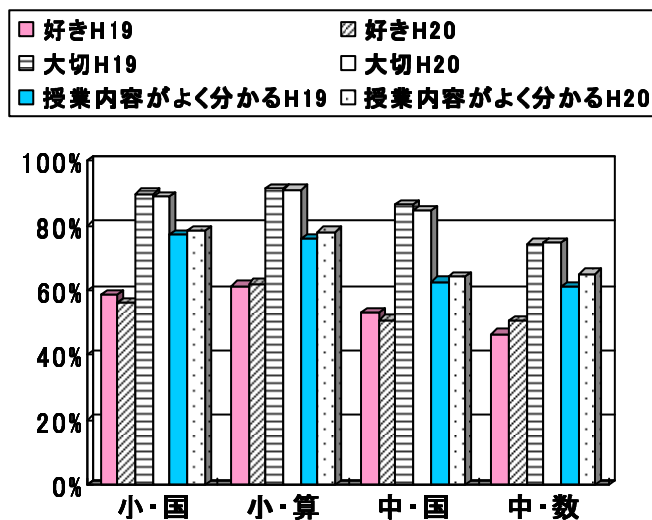
委託期間

平成 21 年 5 月 21 日～平成 22 年 3 月 31 日

学力調査活用アクションプラン概要

全国学力・学習状況調査等の結果から見られる本県の児童生徒の課題

1. 国語、算数・数学の成績は比較的良いが、国語や算数・数学が好きな子どもの割合が、全国に比べ低い。
2. 体力は全国平均を下回っている。（特に持久力）
3. 学校のきまりを守ることや、新聞やテレビのニュースなどへの関心が低く、規範意識や社会性に課題がある。
4. 平日に家族と朝食をとることが少なく、家の手伝いをしている子どもも少ない。
5. 就寝時刻が遅く、睡眠時間が極端に少ない。
6. 多くの子どもが塾に通っているが、地域の行事への参加は少ない。



1. 課題に基づいた本事業の中心的課題

学習意欲の向上

「学習が好き」と答える子どもの割合と「学習は大切だ」と答える子どもの割合の差を小さくする。

課題解決に向けて

- ・ 基本的な生活習慣の確立
- ・ 学習習慣の定着
- ・ 学習規律の確立
- ・ 個に応じた指導の工夫

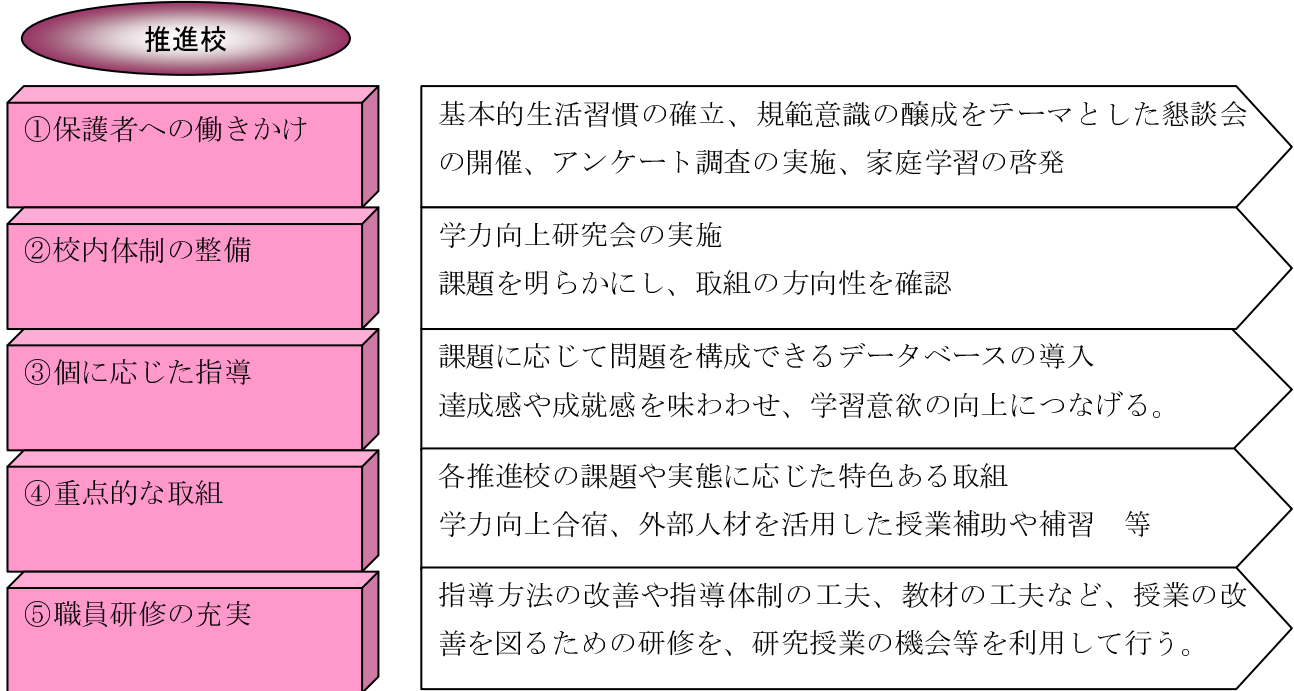
そのために

- ① 保護者への働きかけ
- ② 校内体制の整備
- ③ 個に応じた指導
- ④ 重点的取組
- ⑤ 職員研修 等

2. 課題に即した具体的な改善方策



その他、県立教育研究所アドバイザーチームとの連携、県立教育研究所が開催する研修講座との連携、全国学力・学習状況調査集計・分析ソフトの作成・配布などを行う。



3. 評価に関する事項

取組の成果として期待すること

本事業の中心的課題である学習意欲の向上に向けた取組が、推進校を中心に広まり、県内でも同様の取組を行う学校が増え、教科の学習が好きと答える児童生徒が増える。

なお、課題解決にあたっては、学習の基盤をなす基本的な生活習慣の確立や規範意識の醸成に努めるとともに、基礎・基本の内容の定着に向けた取組も広まるものと考えられる。

(指標 1) 学力の向上

平成 21 年度全国学力・学習状況調査を平成 21 年度中に再度実施

- ・無解答率の高かった問題の改善
- ・平均正答率を 4 月の結果と比較

(指標 2) 学習意欲の向上

- ・「教科の学習が好き」と答える児童生徒の割合と「教科の学習が大切」と答える児童生徒の割合の差の比較

(指標 3) 基本的生活習慣の確立、規範意識の向上

- ・学校に持って行くものを、前日かその日の朝に確かめていますか
- ・家で学校の宿題をしていますか
- ・学校のきまりを守っていますか

などの質問に肯定的に回答する児童生徒の割合の比較

(指標 4) 家庭での改善

- ・アンケート調査により、改善の状況を検証

(その他)

- ・教科等研究会作成の学力診断テストを活用し、取組の成果を経年比較
- ・本調査以外の学力調査を活用し、多様な視点から分析

4. 平成 22 年度以降における取組の構想

推進校の取組を学力向上フォーラムで発表し、県内に研究成果を普及することによって、各学校でも課題の解決に向けた取組を進めるよう、各市町村教育委員会及び学校に指導・助言を行う。

各学校及び各市町村教育委員会から訪問の要請があった際、それぞれの取組にアドバイスを行うとともに、県立教育研究所アドバイザリーチームとの連携を図り、各学校における取組の検証を続けていく。

なお、平成 22 年度の全国学力・学習状況調査の調査結果等も活用して、取組の成果を継続的に検証する。